

重大事故 連続発

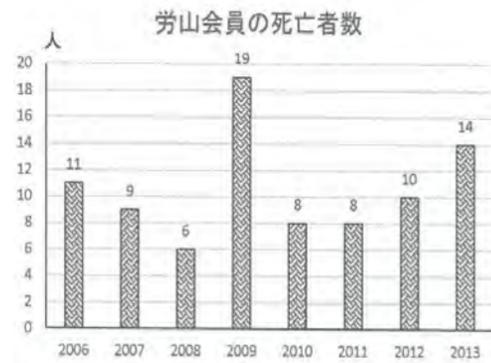
事故原因を究明し再発の防止を 体力・知識・技術の向上をはかろう

こうした重大事故だけでなく、救助を要請しヘリが...

よう。事故を起こした会、地方連盟は、事故原因をリ...

すべての会・クラブで点検し対策を講ずることを、全...

を学ぶ機会を作っています。新特別基金の加入口数...



2013年度の労山会員 死亡・行方不明事故

Table with columns: 事故日, 場所, 地方連盟, 性別, 年齢, 事故原因. Lists 14 accidents.

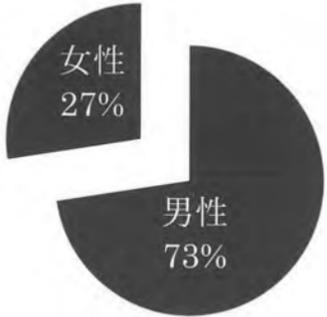
2年目を迎えた 労山パートナーズ 全国の労山会員の力で より広い宣伝を

2012年9月にスタートした労山の個人会員制度「ROUSANパートナーズ」は、いま、2年目に入...

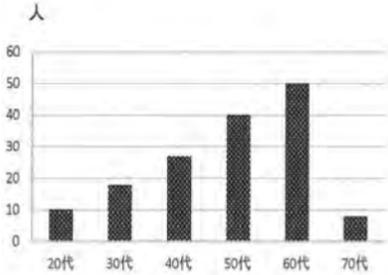
東京の高尾山や御嶽駅、神奈川県丹沢入り口・沢沢駅でのリーフ配布、石川県の登山口休憩所にポスター設置、福岡県連の九重山登山口での宣伝、兵庫県・阪神芦屋川駅や東京・京王線高尾山口駅でのポスター設置、「山ガール」ホームページへのバナー広告などです。7月には岩崎元郎さんを招いて講演会も開催しました。

また、東京都連盟では、個人での登山学校受講希望者に、まずパートナーズ会員になってもらっています。新宿にある歌声喫茶

パートナーズ会員の男女比



パートナーズ会員の年齢構成



都道府県別会員数

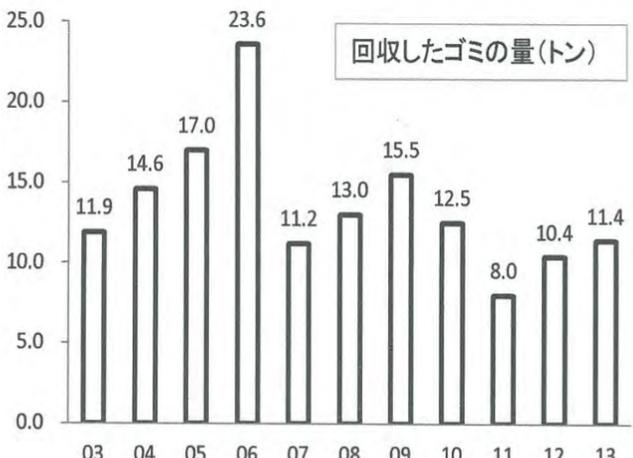
- 北海道 1 青森県 1 山形県 1 宮城県 1 福島県 1 栃木県 1 埼玉県 13 東京都 50 千葉県 13 神奈川県 16 新潟県 3 石川県 2 福井県 1 静岡県 3 愛知県 4 岐阜県 2 三重県 1 滋賀県 2 奈良県 1 京都府 1 大阪府 5 兵庫県 12 岡山県 1 広島県 1 鳥取県 1 香川県 2 徳島県 1 愛媛県 1 福岡県 2 長崎県 3

「どもしび」でも、全国理事が店に行つたときに勧められて、山好きの歌唱リーダーが夫婦で「パートナーズ」会員になってくれました。

想よりは年齢層が高くなっています。また、地域的には東京が3分の1を占め、

今後の取り組みについて

開始から40年目 昨年のクリーンハイクに 全国で1万人以上が参加



2007年が参加者数、ゴミ量とも少ないのは、中間集約の数字のためで、最終結果は不明

「全国いつせいクリーンハイク」は、労山が取り組む自然保護活動の大きな柱ですが、全国的に取り組みが始まったのは1974年からです。そして、昨年2013年はそれから第40回目...

これは、ほかのどの団体もまねのできないすばらしい取り組みといえます。参加者数は、年々右肩上がりで増加傾向にあります。ますます多くの会員が、クリーンハイクの意義を理解して参加いただいているのでしよう。しかし、毎年の取り組みでゴミは少なくなり、2006年をピークに、最近10トン前後で推移しています。

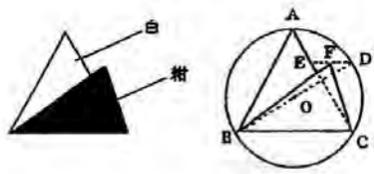
8月11日を「山の日」に 国会議員連盟が 通常国会提案へ

「山の日」制定を求め、運動が大きな前進をみせています。昨年11月11日には国会議員や長野・栃木県知事、財界人など幅広い賛同者を得て「全国『山の日』制定協議会」(会長・谷垣禎一)の設立総会が行われました。これを機に、8月11日を祝日とする法案が、今年(2014年)の通常国会に議員提案される見込みです。

この運動は労山や日本山岳会、日山協など山岳団体が共同して推進してきました。これが超党派の国会議員に広がり、議員連盟にはすでに112名の国会議員が賛同しています。さらにもう一ま

「山の日」の候補として、安藤・日清食品ホールディングス社長や内田・明治海運(株)社長など財界人の名もありません。議員連盟では、通常国会での成立をめざす構えですが、休日が増えることに対する財界などの反対もあり、まだ、見通しは不確実です。しかし、運動を強めれば年間の休日が増えるかもしれませぬ。楽しみですね。

労山マークの由来とその意味するもの



労山マークの描き方

- △ABCは円に接する正三角形
- DはBと円の中心Oを結ぶ線の延長と円との交点
- 円弧AD=円弧CD
- EはAC上の点 (EDとBCは平行)
- FはED線上の点 (EF=FD)

2つの三角形を組み合わせた労山マークは、労山のシンボルとして広く知られています。

このデザインは、1960年の「勤労者山岳会」結成の後に、労山創立者の伊藤正一さんが、1965年11月、山川勇のデザインを作ろうと、山岳画家の山川勇一郎氏（写真）と相談して制定したもので、山川氏のアトリエで2時間ほど考えたうえ、山川氏が考案しました。以来ずっと、労山のマークとして雪のつもる冬山、高くけわ



しい山を表し、紺色の三角形は緑におおわれた夏山、低いなだらかな山を表しています。

登山には広いすそ野が不可欠であり、アルピニズムもハイキングも両方が重要なことから考案されました。

幾何学的な細かい形の取り決めは、将来、マークが変形しないようにとの配慮で伊藤さんが規定したものです。

登山道の放射線量測定を継続

福島県連盟 理事長 村松孝一

東日本大震災は、これまで私たちが経験したことのない大変な災害でした。その地震・津波に追い打ちをかける福島第1原発の爆発。強制避難の人たちをはじめ、多くの福島県民の心をかき乱しました。

復興と除染は、各地それぞれの条件があり、順調に進んでいるとは言えません。特に原発の爆発による放射能汚染は重い足枷とな



毎日新聞福島版に掲載された記事



兵庫県連と登山道で線量測定活動

兵庫県連と登山道で線量測定活動

この活動は、登山道で放射線量を測定し、その結果を公表することで、登山者の安全確保と、放射能汚染の現状把握を目的としています。

測定して分かったこと

- 地形的に原発側の斜面の放射線量は西側斜面に比べ著しく高い。
- 針葉樹林の近くでは放射線量の数値が高くヤブの中も高い。
- 放射能汚染マップの数値に比例し阿武隈山中中部から北部にかけての数値が比較的高いのに対して、吾妻山、安達太良山、磐梯山、

1960年 労山の誕生

労山のルーツをたどる シリーズ第1回



労山誕生を伝えるアカハタ記事 1960.5.22日曜版

私たちの組織、日本勤労者山岳連盟は1960年5月、木曜日の夜、東京・千代田区、九段下の千代田公会堂で千人近い人がぞくぞくと詰めかけました。

この夜の様子を、新聞にこう報道されています。

この日、新たに結成された山岳会が「勤労者山岳会」です。発起人は17名で、結成と同時に全員役員が顧問になっていただきました。

発会式は松本善明氏の設立趣旨の説明と、会則、事業計画についての報告、続いて中島健蔵氏、深田久弥氏、伊藤正一氏の記念講演が行われました。それに参加し山岳映画の上映で、喜草(きそう)正男氏製作の「初夏の火打山」霧水と樹水の蔵王、伊藤氏制作の「雲の平への道」の3本で、大きな感銘を与えました。

1960年5月、日本では安保条約改定に反対する国民の大きな怒りが渦まき、国会周辺は連日、押しかけたデモ隊の熱気があふれていました。

無理をして遭難する。山が荒らされる……これは登山が正しく大衆化されていないからだ。世の中で一番多い勤労者こそ山を愛し、自然を守ることができのた。この考えのもとに生まれた勤労者山岳会。

この日、入会を申し込んだのは260余名。初代会長に黒田寿男氏が、事務局に伊藤正一氏が選ばれ、事務所は年末まで新宿区・四ツ谷の黒田法律事務所内に置かれました。

しかし、登山は働く者の生活に希望と勇気を与え、大きな社会的意義をもつことを、私は登山者たちから教えられていた。旧来の登山界は、増大する勤労者の登山要求に背を向けた存在になっていた。私は、正しい思想に裏付けられた勤労者による民主的な山岳会を作ろうと思い、友人であった松本善明氏に相談した。そして、さっそく実行しようとなった。



●伊藤正一氏の回想

私は松本市に生まれ、東京に初めて出たのは、太平洋戦争が始まった年の暮だ。3人の講師も、しむすかしいことを言わない。

私は松本市に生まれ、東京に初めて出たのは、太平洋戦争が始まった年の暮だ。3人の講師も、しむすかしいことを言わない。

労山創立発起人 17氏 (あいうえお順)

- 伊藤正一 山小屋経営者
- 喜草正男 山岳写真家
- 木村禧八郎 日本社会党参議院議員
- 黒田寿男 弁護士、日本社会党衆議院議員
- 小林国男 地質学者
- 深田久弥 登山家、「日本百名山」著者
- 袋一平 ロシア文学者
- 高倉テル 作家
- 田中澄江 作家「花の百名山」著者
- 田辺和男 植物学者
- 谷口千吉 映画監督
- 中島健蔵 作家
- 平野義太郎 経済学者
- 松本善明 弁護士 後に日本共産党衆議院議員
- 丸木位里 画家
- 丸木俊子 画家
- 山本薩夫 映画監督

名刺サイズの宣伝チラシ
ご活用下さい

初めての山から上級者まで...安全に山に登りたい人のために

ROUSAN パートナース
www.yama-tomo.jp

①

〒162-0814
東京都新宿区新小川町5-24
Phone: 03 6228 1198
rousan-partners@jwaf.jp

あなたの登山を、サポートします。

ヤマトモ
ROUSAN パートナース
www.yama-tomo.jp

②

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24
Phone: 03 6228 1198
Email: rousan-partners@jwaf.jp

怪我 病気 遭害

もしも山で何かあったら?

③

ROUSAN パートナースは、そんな時の心強いパートナーです。年会費 8,000 円で、下山遅れのチェック、救助・捜索費の交付、山の技術・知識を学べる各種登山教室にも参加出来ます。

「ROUSAN パートナース」の名刺サイズ宣伝チラシができました。①と③、または②と③の組み合わせで表裏、または名刺の裏に貼るシールタイプも作れます。必要枚数をお送りします。全国連盟事務局にご注文ください。

福島県に 159 名が集う



七ヶ岳山頂で

●盛りだくさんな 集会内容

心身ほぐれて下山。一同と、チェルノブイリ事故の

一日目は、各会が自主的に交流登山を行いました。二日目、最初の1時間は女子美術大学名誉教授の石田良恵さんが指導する「山筋ゴロー体操」です。その後、福島大学の清水修二教授（地方財政論専攻）に「福島の再生を語る」と題して講演をお願いしました。清水教授は、福島県民は自分たちが使うことのない電力のための原発事故で、日々、体内外の低線量被爆にさらされているこ

が集まったのは会場となる『会津高原リゾートイン台鞍』です。夕食からの交流もたちをどう守るか』の道筋を作っていくことが大切であると語りました。全国

10月13日(日)〜14日の『会津高原リゾートイン(月・祝)の二日間、労山台鞍』で開かれました。女性委員会が主催した「第13回東日本女性登山交流集会」が、福島県・南会津町 高原スキー場で、近くには

東日本女性登山交流集会
2年連続 東北で開催
少しでも復興に役立てば...



福島を再生するためには—清水教授の講演

連盟女性委員会はプレ学習会の中で、食物を通じた内部被ばくの恐ろしさを痛感していただけない、大きな衝撃をもたらしました。続いて、福島県連事務局長の和泉功さん(福島登山会)から「原発事故後の福島山のレポート」があり、福島山の線量測定を2011年10月から2013年9月までの2年間に143回実施したとの報告で、地道な活動に感動しました。集会成功へと取り組まれた福島県連の皆さんに深く感謝し、「福島を忘れまい!そして、福島山へ登ろう!」と意を新たにしました。

自治体とタイアップ

地元の山の良さを広め 村おこしにも貢献

**紅葉の西上州に
211名
群馬県連事務局
宇田川麻希**

第22回ぐんま県民ハイクが11月10日、群馬県南牧村(なんもくむら)で開催され、労山会員135名、一般参加者76名の総勢211名が、紅葉真っ盛りの南牧村の自然を堪能した。

ぐんま県民ハイクは1991年、群馬県労働者山岳連盟と南牧村の協力のもと開催された。県民へハイキングを広め、地域との交流を図り、西上州の山々への環境意識を高めることが目的である。事前準備では、コースの下草狩りなど南牧村の村民方に協力をお願いした。

県民ハイクが根付いていることを実感し、やる気が増した。



いろんな年代層が参加した

だき、連盟会員は危険箇所をロープを張るなどしてコースの整備を行った。南牧村役場では、これまでの県民ハイクを参考に「南牧村ハイキングマップ」を作成し、登山者に人気を博している。「今年も楽しみにしているよ」村民の方に声をかけていただき、南牧村に最大限の配慮を要する。会員たちは日ごろの登山の経験を生かし、参加者を引率した。天候が危ぶまれたものの、幸い全員が下山するまで雨もなく、頂上では展望が開けたとの声もあった。赤城・榛名・妙義の上毛三山が良く見渡せる。頂上では、お昼タイムでは、ちゃっかり会員が一般参加者を会に勧誘している姿も見られた。最近20代の若い参加者も多く、登山人口が幅広い世代にわたっていることを実感する。

ぐんま県民ハイクを知らせる
南牧村のホームページ

下山後は参加者にけんちん汁が振舞われる。南牧村民の方の手作りだ。会場では南牧村の特産品の販売もあり、下山後にもぎわっていた。今年の県民ハイクも連盟所属会員各位、南牧村の皆さんのご協力のおかげで無事に幕を閉じた。今後も安全第一で、連盟と南牧村、一般参加者を結びつけるという役割を胸に、県民ハイクを続けていきたい。



第22回 ぐんま県民ハイク